

『日本聖公会教役者名簿』記載の
来日外国人医師について

高安 伸子

『日本聖公会教役者名簿』は、一九八一（昭和五六）年に日本聖公会歴史編集委員会によって編集され、日本聖公会管区事務所から発行された非売品である。演者はこの名簿記載の来日外国人医師を調査する機会を得た。今回の報告は、『日本聖公会教役者名簿』の資料価値、および本名簿に記載された来日外国人医師について述べていきたい。

『日本聖公会教役者名簿』は邦人男子、邦人女子、外人男子、外人女子の四部門と附録の主教表からなる。今回調査した外人男子の部の項目は姓名、国籍、所属ミッシン、生年月日、執事 (Deacon) 按手年月日、司祭 (Priest) 按手年月日、主教 (Bishop) 按手年月日、教区、来日年月日、離日年月日、逝去年月日、備考欄の十二である。名

簿の作成手順については、名簿の巻頭に記述された部分を引用しておく。

基礎資料

- 一、教役者カード（一九六六年作成のもの）
- 二、教役者名簿（管区事務所備付のもの）
- 三、外人教役者カード 大阪教区ミス・ベーカー編
- 四、日本聖公会史 元田主教著
- 五、日本聖公会百年史
- 六、あかしびとたち
- 七、中部教区・教区のあゆみ
- 八、沖繩キリスト教史料
- 九、九州における聖公会
- 十、日本聖公会成立以前の教勢 I、II、III、矢崎司祭著

十一、三光教会の由来

十二、要覧

十三、公報

十四、聖公会新聞

十五、その他各教会史、個人的手記など

編集手続き

一、基礎資料により名簿原稿を作成した。

一九七七年 邦人男子

一九七八年 外人男子および外人女子

一九七九年 邦人女子

二、作成順に原稿を各教区に配布し、訂正・加筆を求めた。

外人の部については、USPG、CMS、PECUSA、カナダ聖公会などの資料室にも送付して、訂正・加筆を求めた。

三、以上の返送を待つて編集した。

四、記載事項の一致しないものについては、原則として、教区その他より新しく報告された記述に従った。

以上のような手順で作成された本名簿の資料としての価値は高いものと判断し、外人男子の名簿から備考欄に M. D. あるいは宣教医師と記された人物を抜き出した。

その結果、十九名の医師が記載されていた。来日時期のもっとも古い医師は、ベッテルハイム (Bethelheim, Bernard Jean) 一八四六(弘化三)年であった。また来日時

期のもっとも新しい医師は一九五〇(昭和二五)年に来日し、聖路加病院で活動したリーマン (Leeman, Judson Sheppard) であったが、この人物は司祭の資格を有するという記載があるため、実際に医師として活動したのかどうかは不明である。国籍は十二名が米国人、三名が英国人(ベッテルハイムの国籍はハンガリーであるが、かつこ付きで G.B. と記載されている)、カナダ人二名、不明二名であった。所属ミッションは米国監督教会十五名、英国教会伝道会二名、琉球海軍伝道会一名、不明一名であった。

次に、蒲原・長門谷らによる『来日医学関係者リスト』の「宣教医、その他のキリスト教関係者」リストとの比較を試みたが、ロー (Law, Victor M.) は聖公会の名簿に医師としての記載がなかった。それは、ローは司祭の資格を有しており、医師としてではなく教会本部の教職として来日したことも考えられる。報告の際には、『日本聖公会教役者名簿』と『来日医学関係者リスト』を元に作成した日本聖公会所属の来日医師リストを配布する。

(順天堂大学医学部医史学研究室)